

# 「おとボク」11月クイズ！ on 「おボク様が見てる？ 5」 正答・解説

【正答】

【問一】 (20) 各10 = All or Nothing

キャラクター名	誕生日 (月/日)	星座 (12星座で)
巖島貴子	11/16	さそり座
高島一子	11/24	いて座

【問二】 (130) 各5, ただし (h) は (エー1) ~ (エー3) 以外10

(a)	創造祭	(b)	プラネタリウム
(c)	演劇部	「イノセント・ガーデン」 または「イノセント・シャングリラ」 (PS2版由来)	生徒会 「ロミオとジュリエット」
(d)	ゲーム	高島一子	アニメ 御門まりや
(e)	「桜子」役	周防院 奏	部長 小鳥遊 圭
(f)	ゲーム	制服 (夏服: 白)	アニメ メイド服
(g)	(ウ)	(この欄余白)	
(h)	(ア)	ゲーム: 「貴子さんなら <u>きっと</u> 、素敵なジュリエットになる <u>の</u> でしょうね」 アニメ: 「貴子さんなら、素敵なジュリエットになる <u>の</u> でしょうね」	
	(イ)	ゲーム: 「……良いじゃないですか、別に男と女って <u>い</u> うわけ <u>で</u> はないの <u>だ</u> し」 アニメ: 「……良いじゃないですか、別に男と女って <u>い</u> うわけ <u>で</u> もないの <u>だ</u> し」	
	(ウ)	共通: 「ごめんなさいね、貴子さん……！」	
	(エー1)	共通: 「狼狽 (ろうばい)」	(エー2) 共通: 「うろたえる」
	(エー3)	共通: 「可愛らしい」	(この欄余白)
	(エー4)	共通: 「瑞穂さんのこと、好きなのかも知れませんね」	
	(エー5)	共通: 「女の子同士で頬にキスをするくらいで」	
	(オ)	ゲーム: 「 <u>と、とにかく</u> 、私、怒って <u>い</u> ませんから <u>っ</u> ……！」 アニメ: 「私、怒って <u>ま</u> せんから」	

## 「おとボク」11月クイズ！ on 「おボク様が見てる？ 5」 正答・解説

### 【解説】

※ところどころ、というかかなり（汗）問題に対する解説でないのはご愛嬌、ということで（え

#### [問一]

「おとボク」大好きなあなたにとっては、解説不要な問題だったことと思います。星座まで正しく答えられたでしょうか？

#### [問二]

(a) 「学院祭」ではダメです。「正式名称」を答えよ、という問題ですので。アニメでも校門のところきちんと出ていましたよ。

(b) とても女子校とは思えない、計算しつくされた“本格的な”プラネタリウム。アニメでは流れ星の大サービスまでありましたよね。

(c) アニメでも第9話のAパート側アイキャッチで、奏ちゃんが持っていた台本にしっかり書いてありました。PS2版でタイトルが書き換えられた理由は……いまだに「謎」です。

(d) ゲームでは一子ちゃんがある場面を振り返っての反語表現が、アニメではその気ありありだったのにいざキスシーンとなると瑞穂ちゃんを突き飛ばしてしまうまりやのリアクションが、それぞれ印象的でしたね。

(e) これも解説不要ですね。ゲームでの部長の「死ぬ気で……死ぬ」に奏ちゃんが固まってしまう描写が思い出されます。

(f) アニメでのあの「メイド喫茶」には、「まあ、あんなっても仕方ないのかなあ」とは思いつつ、でもそれって正しく「おとボク時空」じゃないんだよな、なんか「お嬢さま学院」度を下げられてしまったなあ……などと思いながら見ておりました。ゲームでのティールームは、手作りケーキと、それに合わせた紅茶が出てくる、いかにも「淑女の嗜み」らしいものだったのですよ～（なぜ奏ちゃん語尾？>自分）。

(g) 通常の美少女ゲームの主人公だと、この場面ではすでに個別ルートにはいって、（ア）あたりが「明らかに下心を伴った」きっかけになるのでしょうか……やはりここは妹思いの「お姉さま」ならでの理由づけでございました。

(h) アニメでは第9話～第10話、原作では第五話に出てくるセリフからの出題です。正直なところ、10点ずつ配点している問題（いずれも正答と比較して、同じ意味合いが確認できれば正解とします）は、かなり難しかったのではないかと思います。

(ア) 朴念仁（鈍感）な瑞穂ちゃんは、貴子さんが瑞穂のことをどれだけ意識しているかに関係なく、自分の素直な感想を言葉にしてしまいます。ゲームではこのあと、紫苑さまとこんなやりとりがありましたね。

「紫苑さん、私……何かいけないことを云ったでしょうか……？」

「……多分、瑞穂さんは自覚がないから気にしても無駄ですわね」

「ど、どういう事ですか、それは……」

「女性というものは、見た目よりも複雑…と云うことすわ」

(イ) この場面では、あくまで瑞穂本人と紫苑さま以外からは「女の子同士」に見えている、ということがポイントになります。でも、個人的には圭さんは、言葉には出さずとも瑞穂が男だとわかっているように思えるのですが（お

(ウ) 瑞穂ちゃん、キザすぎます。瑞穂を意識しまくる貴子さんが、失神寸前（というか、アニメでは本当に気絶していたような……？）になってしまうのも無理はありません。

(エ) 劇の稽古で、いつもの凜とした態度とはあまりに違いすぎる一面を見せた貴子さんを振り返って。紫苑さまと二人きりなので安心して“男”である部分が出せる瑞穂と、そんな“彼”や貴子さんを冷静に見つめる“お姉さまのお姉さま”紫苑、というキャラクターがよく出ている場面です。「狼狽」はできれば漢字で書いていただきたいところ。「うろたえる」は「狼狽」という言葉の単純な言い換えなので、（エー1）が出てくれば、（エー2）も自然に出てきたのではないかと。（エー3）は貴子さんがどんな様子だったか思い出せばすんなり出てきたはず。（エー4）は、アニメ版では第11話でも同じセリフがあったような。そして（エー5）、（イ）の解説内容、および稽古中は「頬にキス」だったこと、思い出せましたか？

(オ) この場面では瑞穂ちゃん、「叩かれても文句云いません（ゲーム）」「何をされても文句は言いません（アニメ）」と覚悟を決めて謝りに行きますが、「私こそ、全生徒の前で裸をさらさないで済みましたし（ゲーム）」「私こそ、全生徒の前で恥をさらさないで済みましたわ（アニメ）」とひとことあって、最後にこのセリフ、と続きます。実は気が動転しているのを必死に抑えて、凜然とした態度で瑞穂に接する貴子……さすがは“生徒会長”ですね。

最後におまけ。会場でどんな「おとボク」萌えの表現が出てくるのか、出題者としてとても楽しみです。